



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <http://www.wdbhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,906	9.4	798	20.1	800	19.8	440	22.6
28年3月期第1四半期	7,229	9.5	664	24.0	668	23.2	359	35.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 425百万円 (16.6%) 28年3月期第1四半期 364百万円 (37.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	21.97	—
28年3月期第1四半期	17.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,385	9,736	67.7
28年3月期	13,960	9,461	67.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,736百万円 28年3月期 9,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	7.50	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	2.50	—	8.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	16,154	10.9	1,260	△5.2	1,260	△5.3	756	△3.2
通期	33,081	11.2	2,827	3.3	2,827	3.3	1,696	2.6
								円 銭
								37.72
								84.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)尚、当社は、平成28年4月1日付で、WDBケミカルラボラトリー株式会社を設立しております。また、平成28年6月30日時点で、ポストクスタイル株式会社は清算手続き中であります。これにより、当社グループは、当社および子会社19社で構成されております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	20,060,000 株	28年3月期	20,060,000 株
29年3月期1Q	2,226 株	28年3月期	2,226 株
29年3月期1Q	20,057,774 株	28年3月期1Q	20,057,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益ならびに雇用情勢の改善により、ゆるやかな景気の持ち直しが期待される反面、円高・株安の進行に加え、日銀のマイナス金利導入、英国の欧州連合（EU）離脱の決定などから、全体として景気の下振れリスクもあり、先行き不透明な状況で推移しております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成28年6月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.37倍と、前月を0.01ポイント上回り、また、総務省が発表した平成28年6月の完全失業率(季節調整値)についても、3.1%と、前月を0.1%下回るなど、全体として改善を続けております。

当社グループは、従来、化学・バイオ分野を中心とした理学系研究職派遣、機械・電子分野を中心とした工学系技術職派遣からなる「人材サービス事業」、医薬品開発の支援を行う「CRO事業」、有機化学品の受託製造、二枚貝を中心とした海水生物の販売・受託試験、射出成型機器の製造・販売を行う「研究開発・製造事業」ならびに、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」で構成されておりましたが、今年度より、「CRO事業」につきましては、本格的な海外進出を開始し、また新たな事業領域としまして、人材サービス事業で培ったマッチングのノウハウと、インターネットの技術を組み合わせた「インタラクティブ事業」を設け、現在当社及び子会社19社で構成されております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、理学系研究職派遣において、人材養成の為の研修所の新設を昨年度より進めており、現在全国に17拠点を展開しております。雇用情勢の改善によるスタッフの確保は厳しさを増しておりますが、自社で教育訓練を行うことにより、付加価値の高い人材を輩出出来る体制を整え、顧客からのニーズにお応えしております。また、工学系技術職派遣につきましても、WDB工学株式会社において、新たに新入社員を迎え、全国で稼働しております。

CRO事業につきましては、従来の国内展開だけではなく、海外展開を昨年度より開始し、グローバルCRO体制の構築を目指しております。今年度につきましては、平成28年4月に『WDBケミカルラボラトリー株式会社』を設立し、事業を開始いたしました。主として製薬会社が従来行っております創薬研究のための実験業務を代行して行うことを目的としており、実際の実験につきましては平成28年2月に設立しました WDB India Pvt, Ltd. で実施をしていきます。また、平成27年8月に米国フィラデルフィアに設立いたしました WDB Medical Data, Inc. につきましても、本格的な事業開始に向け、活動を行っております。

以上のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,906百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

営業利益につきましては、798百万円と前年同期と比べ133百万円（前年同期比20.1%増）の増益となりました。また、経常利益につきましては、800百万円と前年同期と比べ132百万円（前年同期比19.8%増）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、440百万円と前年同期と比べ81百万円（前年同期比22.6%増）の増益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記のとおりとなっております。

① 人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、7,391百万円と前年同期と比べ640百万円(前年同期比9.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、839百万円と前年同期と比べ152百万円(前年同期比22.1%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

② CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は322百万円と前年同期と比べ57百万円(前年同期比21.6%増)の増収となりましたが、昨年度より展開をしております海外CRO事業について、事業立ち上げのコストの増加により、セグメント利益(営業利益)は、26百万円と前年同期と比べ18百万円(前年同期比41.4%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③ その他

当セグメントの売上高は、193百万円と前年同期と比べ20百万円(前年同期比9.7%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は11百万円と前年同期と比べ0百万円(前年同期比3.9%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、主として受取手形及び売掛金の増加により、総資産は14,385百万円となり、前連結会計年度末と比較して424百万円の増加となりました。負債につきましては、主として支払手形及び買掛金の増加により4,649百万円となり、前連結会計年度末と比較して149百万円の増加となりました。また、純資産は9,736百万円となり、前連結会計年度末と比較して274百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日に発表致しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,292,206	5,437,829
受取手形及び売掛金	3,699,765	3,941,743
商品及び製品	11,886	11,092
仕掛品	33,151	24,593
原材料及び貯蔵品	80,974	89,632
繰延税金資産	238,047	156,139
その他	368,816	562,182
貸倒引当金	△1,138	△244
流動資産合計	9,723,709	10,222,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,697,234	1,686,867
土地	1,441,263	1,441,263
その他(純額)	197,052	188,473
有形固定資産合計	3,335,549	3,316,604
無形固定資産		
のれん	43,446	38,015
その他	13,204	14,140
無形固定資産合計	56,650	52,156
投資その他の資産		
投資その他の資産	877,480	828,458
貸倒引当金	△32,589	△34,992
投資その他の資産合計	844,890	793,466
固定資産合計	4,237,090	4,162,226
資産合計	13,960,800	14,385,194
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,282	1,794,489
未払法人税等	579,681	207,417
賞与引当金	391,958	324,886
その他	1,294,126	1,706,102
流動負債合計	3,890,048	4,032,897
固定負債		
役員退職慰労引当金	344,738	350,700
退職給付に係る負債	134,682	136,981
資産除去債務	88,469	89,836
その他	41,478	38,630
固定負債合計	609,368	616,148
負債合計	4,499,417	4,649,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	8,273,397	8,563,643
自己株式	△553	△553
株主資本合計	9,490,868	9,781,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,947	13,205
為替換算調整勘定	73	△16,887
退職給付に係る調整累計額	△44,507	△41,283
その他の包括利益累計額合計	△29,486	△44,965
純資産合計	9,461,382	9,736,148
負債純資産合計	13,960,800	14,385,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,229,936	7,906,755
売上原価	5,448,712	5,929,257
売上総利益	1,781,224	1,977,497
販売費及び一般管理費	1,116,295	1,179,124
営業利益	664,928	798,372
営業外収益		
受取配当金	1,790	290
還付加算金	72	14
受取保険金	60	260
消費税等調整額	2,923	-
雑収入	1,389	2,987
営業外収益合計	6,235	3,552
営業外費用		
支払利息	56	-
雑損失	2,625	1,367
営業外費用合計	2,681	1,367
経常利益	668,482	800,557
特別利益		
投資有価証券売却益	35,400	-
固定資産売却益	2,758	-
受取保険金	-	20,000
特別利益合計	38,158	20,000
特別損失		
固定資産売却損	-	616
特別損失合計	-	616
税金等調整前四半期純利益	706,641	819,941
法人税、住民税及び事業税	270,032	300,125
法人税等調整額	77,019	79,137
法人税等合計	347,052	379,262
四半期純利益	359,588	440,678
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,588	440,678

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	359,588	440,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,931	△1,742
為替換算調整勘定	1,604	△16,960
退職給付に係る調整額	469	3,223
その他の包括利益合計	5,005	△15,478
四半期包括利益	364,593	425,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,593	425,199
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,750,619	265,236	7,015,856	214,080	7,229,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,570	—	16,570	—	16,570
計	6,767,190	265,236	7,032,426	214,080	7,246,507
セグメント利益	687,490	45,725	733,216	11,456	744,672

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	733,216
「その他」の区分の利益	11,456
全社費用(注)	△79,743
四半期連結損益計算書の営業利益	664,928

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,391,046	322,397	7,713,444	193,311	7,906,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,552	72	9,624	—	9,624
計	7,400,599	322,469	7,723,068	193,311	7,916,380
セグメント利益	839,553	26,816	866,369	11,005	877,375

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	866,369
「その他」の区分の利益	11,005
全社費用(注)	△79,002
四半期連結損益計算書の営業利益	798,372

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。